

## 卒園式のご案内

萬象に春を告げる候、白ゆり幼稚園も嬉しい卒園の日を迎えます。楽しい日もあれば、苦しい日もありました。暖かな日もあれば、寒い日もありました。どの子どもご家庭の励ましのおかげで健やかに園生活を送ることができました。

意欲と自信、思いやりの心、教師の話をしっかりと聞く力、自分のことは自分でする自立、我慢が必要なときにちゃんと我慢ができる自律も育ちました。ここに小学生としての素地が立派に整いました。

次の通り、「第52回卒園式」を行います。卒園児達の晴れの姿に祝福を頂きたく、茲にご案内申し上げます。

**令和6年3月22日(金) 9:30開式(終了12:00予定)**

お子様と一緒に8:50~9:00の間にご来園下さい。会場の混雑を避けるため保護者の方の参列は「2名」までとさせていただきます。着席できる保護者の方は「1名」です。抽選番号順に着席して頂きます。もう1名の方は抽選された方が全て着席されてから会場にお入り頂きます。

- \* 制服・制帽・クラスパッチを着用して登園して下さい。
- \* 上履きをご持参下さい。
- \* 園庭を駐車場として開放致しますが、駐車できるのは駐車券をお持ちの方のみです。
- \* 記念品等、持ち帰る物がたくさんあります。お使いカバンをお持ち下さい。

### = CAUTION =

3月21日(木) 令和5年度修了式は午前保育です。

降園時間が2時間30分早くなります。

なお、この日の預かり保育はありますが、3月22日(金)の卒園式は預かり保育がありません。ご注意ください。

3月12日(火)は今年度最後の「お誕生会」です。

歌のプレゼントはきくぐみの子供達…

SNOW MANの「あいことば」を歌います。

踊りながら歌うのかな…?? (笑)

きくぐみの保護者の方は10:45頃を目途にご来園下さい。(1名まで)



## 緑を生かす… ~与えられた緑をどう生かすか~

その先生が5年生の担任になった時、一人、服装が不潔でだらしく、どうしても好きになれない少年がいた。中間記録に先生は、少年の悪いところばかり記入するようになっていた。ある時、少年の一年生からの記録が目に入った。「朗らかで、友達が好きで、人にも親切。勉強も良くでき、将来が楽しみ」とある。間違いだ！ 他の子の記録に違いない！ 先生はそう思った。

二年生になると「母親が病気で世話をしなければならず、時々遅刻する」と書かれていた。三年生では「母親の病気が悪くなり、疲れていて教室で居眠りする」三年生の後半の記録には「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる」とあり、四年生になると「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子供に暴力をふるう…」先生の胸に激しい痛みが走った。

ダメと決めつけていた子が突然、深い悲しみを生き抜いている生身の人間として自分の前に立ち現れてきたのだ。放課後、先生は少年に声をかけた。「先生は夕方まで教室で仕事をやるから、あなたも勉強をしないか？ わからないところは教えてあげるから…」少年は初めて笑った。それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。

授業で少年が初めて手を挙げた時、先生に大きな喜びが沸き起こった。少年は自信を持ち始めていた。クリスマス後の午後だった。少年が小さな包みを先生の胸に押しつけてきた。あとで開けてみると、香水の瓶だった。亡くなったお母さんが使っていたものに違いない。

先生は、その一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。雑然とした部屋で独り本を読んでいた少年は、気が付くと飛んできて、先生の胸に顔を埋めて叫んだ。「ああ、お母さんの匂い！ 今日こそ素敵なクリスマスだ！」

六年生では先生はその少年の担任ではなくなった。卒業の時、先生に一枚のカードが届いた。「先生は僕のお母さんのようです。そして、今まで出会った中で一番素晴らしい先生でした」

それから六年… またカードが届いた。「明日は高校の卒業式です。僕は五年生で先生に担任してもらってとても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することができます」

十年を経て、またカードが… そこには先生に出会えたことへの感謝と父親に叩かれた体験があるから患者の痛みがわかる医者になれると記され、こう締めくくられていた。「僕はよく五年生の時の先生を思い出します。あのままダメになってしまう僕を救って下さった先生を、神様のように感じます。大人になり、医者になった僕にとって最高の先生は五年生の時に担任して下さいました先生です」

そして一年…届いたカードは結婚式の招待状だった。「母の席に座して下さい！」と一行、書き添えられていた。

**たった一年間の担任の先生との縁。その縁に少年は無数の光を見出し、それからの人生を生きた。人は誰でも無数の縁の中に生きている。大事なのは、与えられた縁をどう生かすかである。**

新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るう前… 「巣立ちを祝う会」と称して、幼稚園スタッフと保護者の皆様と一緒に会する謝恩会を催しておりました。毎年その席で、故理事長がご挨拶として保護者の皆様にお伝えしていたお話を紹介させて頂きました。卒園する子供達もこれから無数の縁に育まれ、人生を歩んでいくのですね(笑)